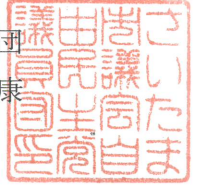


令和3年5月18日

さいたま市長 清水 勇人 様

さいたま市議会自由民主党議員団  
団長 鶴崎 敏康



## 新型コロナウイルスワクチン接種に関する要望及び提言

新型コロナウイルス感染拡大が続き、市民生活にも大きな影響を及ぼす中、今週より市内医療機関において開始されたワクチン接種に対する市民の期待は、日に日に高まっています。

一方で、4月26日より85歳以上の接種クーポン券を発送して以降、残念ながら多くの市民よりその予約方法や周知方法に関して、様々な声が寄せられており、今後のワクチン接種を迅速かつ公平に進めるために、早急に改善が必要な課題も明らかになりました。

以上を踏まえて、さいたま市議会自由民主党議員団は以下の項目について要望及び提言をいたします。

### 記

#### 1 市民への情報提供

##### (1) 接種クーポン券に関する情報の統一と着実な実行

当初ホームページに掲載された情報が、一切周知のないまま変更されており、報道などの情報との差異が発生しています。また表現が曖昧であるため、情報を受け取った市民により認識に違いが生まれ混乱をきたしています。

一度、決定事項として発表されたものに関しては確実に実行すること、併せて受け手によって受け取り方が変わる表現は控えるよう要望します。

##### (2) ホームページの改善

ワクチン接種に関する情報がとても分かりづらい内容となっています。また類似のページが複数あり、階層は深く、さらに更新時点が不明瞭であり、市民の利便性が無視され、正確な情報も伝わりづらい状況となっています。

また問い合わせフォームより問い合わせをしたが返信がないとの声も寄せられています。

市民にわかりやすいホームページを目指し、不要なページの整理統合や目的のページまでのアクセスの向上などについて早急な対応を求めます。

## (2) 市民への周知方法の多様化

市はワクチンに関する情報周知に関して、ホームページを主たる手段として活用していますが、予約時の混乱からもわかるとおり、これだけでは高齢者まで情報は行き届きません。

広報車による周知や、各自治会掲示板、自治会回覧板、選挙掲示板を活用するなど、周知方法の改善を求めます。

## 2 予約方法

### (1) 公平な予約方法の確立

公式の予約方法としてはホームページとコールセンターの2種類の手法しか公にされていません。しかし、現実には医療機関でかかりつけの患者へは医療機関が独自の予約方法を持っており、実質的な先行予約が可能となっています。この方法は一部の市民しか知りえない情報であり、公平に予約ができない状況になっています。基礎疾患を有する方への配慮は理解できますが、それであれば全市民にこの方法を公表するべきであり、実態の調査、公平性のある予約体制の確立、市民への速やかなアナウンスを求めます。

### (2) コールセンターの拡充

当初より危惧されていたことではありますが、多くの高齢者はホームページから予約をすることが困難であり、結果としてコールセンターに問い合わせが集中してしまい、電話が全く繋がらない状況となっています。

一方で、他政令市では電話回線を今月末までに300回線へと増設する計画などが発表されており、本市においても更なる電話回線の増設を求めます。

## 3 その他

### (1) 集団接種会場、大規模接種会場の拡充

埼玉県が集団接種会場として県浦和合同庁舎(浦和区)を会場とすることを発表しました。しかし、通常業務を行っているほか、駐車場も少なく、公共交通手段も最寄りの北浦和駅から徒歩で移動することとなります。

そこで、緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE」(テックフォース)の活動拠点として使用する協定を結んだ日本大学法学部大宮キャンパスの活用を検討するべきです。

現在の集団接種会場となっている区役所は手狭で駐車場も少ないなど制約が多いことから、日本大学法学部大宮キャンパスでの会場利用が可能であれば、本市としても活用していくべきです。

(2) 貸切バス車両の活用

他の自治体において、貸切バスを接種会場として活用する事例や、接種会場までの輸送のためにコミュニティバスを活用する事例がみられます。本市においても貸切バスやコミュニティバスの積極的な活用を検討することを要望します。

(3) 予約キャンセル分の有効活用

ワクチン接種の予約キャンセルによりワクチンが廃棄されることの無いよう、キャンセル分の受け皿となるシステム及びルール構築と、それを事前に周知することで市民に理解を得られるよう努めることを求めます。